

「コーケンPPカニューレ(複管)」の付属品 内筒(15Mコネクター付き)

再使用禁止

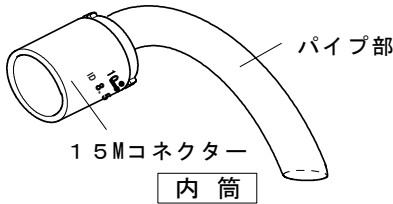
【禁忌・禁止】**

【使用方法】**

- ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】*

「コーケンPPカニューレ(複管)」専用の内筒である。必ず「コーケンPPカニューレ(複管)」と組み合わせて使用する。



製品番号と規格

| 製品番号 | コーケンPPカニューレ(複管)の製品番号 |
|-------|----------------------|
| #5281 | #5251(6mm)用 |
| #5282 | #5252(7mm)用 |
| #5283 | #5253(8mm)用 |
| #5284 | #5254(9mm)用 |
| #5285 | #5255(10mm)用 |
| #5286 | #5256(11mm)用 |
| #5287 | #5257(12mm)用 |
| #5288 | #5258(13mm)用 |

【使用目的又は効果】*

気管切開後に切開口から気管に挿入し、気道確保及び切開口を維持する。また、外筒は抜去することなく内筒を取り出し、汚れや異物を除くことができる。本品は「コーケンPPカニューレ(複管)」内筒の交換用部品であり、取り出した内筒を速やかに本品に交換する。

【使用方法等】*

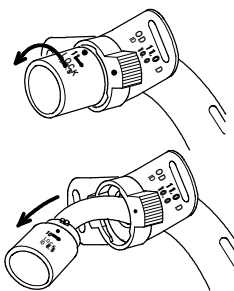
【内筒の着脱のしかた】

- 1) 挿管している「コーケンPPカニューレ(複管)」内筒の内側を吸引する。
- 2) フレームを持ち反時計回りに約90°内筒の15Mコネクターを回しロックをはずす。
- 3) フレームを持ち内筒だけ引き抜く。
- 4) 外筒内側の吸引を行う。

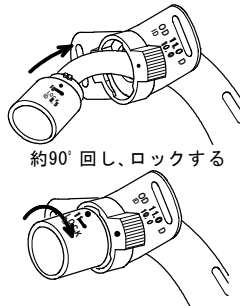
＜注意＞

- ・本品を挿入する際には、必ず直前に外筒内側の吸引を行うこと。[外筒内側に付着した分泌物を気管内に落としてしまうおそれがあるため。]
- 5) フレームを持ち本品のツメを挿管されている「コーケンPPカニューレ(複管)」の溝に合わせて差し込む。
- 6) 時計回りに約90°、カチリと手応えのある(合い印の「・」が重なる)ところまで回しロックする。

約90°回し、ロック解除



ツメを溝に合わせて差し込む



- 7) 以降は、「コーケンPPカニューレ(複管)」の添付文書の操作方法又は使用方法に従って行う。

【使用上の注意】**

【重要な基本的注意】**

- 1) 小児や意識障害患者、認知症患者等、意思表示の困難な患者に使用する場合には、気道閉塞の発見が遅れるおそれがあるため、厳重に観察すること。
- 2) 内筒内側の分泌物の凝固を最小限にし、気管粘膜の損傷を防ぐため、患者の気道を適切に加湿すること。
- 3) 内筒内側に付着した分泌物等による閉塞を防ぐため、適宜、吸引を行うこと。
- 4) 吸引操作後に呼吸管理状態が適切であることを確認すること。
- 5) 患者の状態、局所の変化並びに本品の汚れ等の状態に応じて、新品と交換すること。
- 6) 開封後、何らかの事情で直ちに使用しない場合には、廃棄すること。
- 7) 本品は「コーケンPPカニューレ(複管) 外筒」(承認番号: 21200BZZ00131000) と組み合わせて使用すること。[これ以外の組み合わせ、あるいは単体使用では機能しないため。]

【不具合・有害事象】**

本品の使用中に次の事象が起こることがある。使用期間中は十分な観察を行い、このような場合には本品の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

- 1) 重大な不具合
折れ、外れ、潰れ、事故抜去、狭窄、詰まり、異所留置、誤接続
- 2) その他の不具合
キズ、亀裂、剥離、異物混入、抜去不能、緩み、捻れ、凹み
- 3) 重大な有害事象
肺炎、換気不全、呼吸不全、壊死、穿孔、気道閉塞
- 4) その他の有害事象
発赤、炎症、感染、発熱、喉頭狭窄、誤嚥、呼吸困難、潰瘍、出血、損傷、咳、痛み、痒み、喘鳴、肉芽形成、癬痕形成、びらん

【その他の注意】**

院外で本品を使用する際、医療従事者は本品の取扱者に必ず安全な使用方法と操作方法の説明を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】**

【有効期間】**

3年 [自己認証(当社データ)による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

【製造販売元】**

株式会社 高研
TEL 03-3816-3500

【製造元】

株式会社 高研